

2021年度シンポジウム次第

性別違和・性別不合があっても安心して暮らせる社会をつくる
— 人権保障のため私たち一人ひとりが何をすべきか —

- 《総合司会》 シンポジウム委員会 副委員長 高岡 俊之
委員 小池 さやか
- 1 開会宣言 長野県弁護士会 会長 久保田 明雄
 - 2 理事長挨拶 関東弁護士会連合会 理事長 海老原 夕美
 - 3 基調講演
「ある「性同一性障害」者が見てきた社会」 虎井 まさ衛 氏
 - 4 委員会からの報告
はじめに（問題提起） 宮井 麻由子
第1部会 「総論・憲法論」 松永 成高
小池 さやか
本多 広高
第2部会 「法律上の性別変更の問題」 黒田 隆史
〈 休 憩 10分 〉
第3部会 「性別表記・性別欄の問題」 大畑 敦子
吉田 奉裕
第4部会 「医療の問題」 鈴木 敦悠
第5部会 「トイレの問題」 立石 結夏
第6部会 「子どもたちの問題」 今泉 圭介
呉 国峰
梅田 英樹
第7部会 「労働の問題」 安倍 嘉一
第8部会 「刑事収容施設の問題」 本多 広高
岡室 恭輔
尾畑 慧
 - 5 閉会挨拶 シンポジウム委員会 委員長 諏訪 雅 顕

基調講演者のご紹介

虎井 まさ衛 氏（とらい まさえ）

著述業。大学非常勤講師。性同一性障害当事者・研究者・支援者のためのミニコミ誌「FTM日本」を16年間主宰する。

幼児期より性同一性障害に悩み、大学卒業後、渡米して女性から男性への性別適合手術を受ける。その前後の1987年より、著述・講演など性同一性障害についての啓発活動を始め、1994年に創刊した「FTM日本」は国内外の研究者・教育者にも広く参考にされていた。

東京都人権啓発ビデオ（東映製作）への出演、「3年B組金八先生」第6シリーズへの協力など、性と人権について、教育現場や特にメディアを通じてアピールすることに力を入れている。関連著書多数。